



平成 20 年 8 月 29 日

各 位

上場会社名 日本精密株式会社
(JASDAQ コード番号 : 7771)
代表者名 代表取締役社長 岡林 博
問合わせ先 専務取締役 金 昌明
(TEL (048)225-5311)

転換社債型新株予約権付社債の払込および一部失権に関するお知らせ

当社は、平成 20 年 8 月 22 日開催の取締役会において決議しました、転換社債型新株予約権付社債の発行に関しまして、下記のとおり払込がなされましたが、その結果一部失権が生じたのでお知らせいたします。

なお、これにともない、平成 20 年 8 月 22 日付当社開示資料「転換社債型新株予約権付社債の発行に関するお知らせ」が変更となりますので併せてお知らせいたします。

記

1. 払込結果および変更事由

今回の社債の発行総額 6 千万円につきまして、払込の確認ができましたのは 4 千万円でありました。これは、割当先の個人 3 名のうち、Kook Wonsuk につきまして、割当先の事情により当初割り当てた当該社債(2 千万円)の払込がなされなかったためのものであります。なお、他の割当先である Kun-Ok Kim(2 千万円)、Sung Sangyub(2 千万円)につきましては、当初の予定通り払込がなされました。

2. 資金用途の変更について

今回の変更により、本社債の発行による調達資金の用途は、以下のとおり変更いたしました。(変更箇所は下線で表示)

(変更前)

・返済・・・有利子負債削減

平成 20 年 8 月 29 日 金融機関への借入金返済・・・23,000,000 円

平成 20 年 9 月 30 日 金融機関への借入金返済・・・36,000,000 円

(変更後)

・返済・・・有利子負債削減

平成 20 年 8 月 29 日 金融機関への借入金返済・・・23,000,000 円

平成 20 年 9 月 30 日 金融機関への借入金返済・・・16,400,000 円

3. 業績に与える影響

今回の社債の発行により調達した資金につきましては、金融機関への借入金返済に充当する予定でございました。払込の不足額 2 千万円により、当面の資金繰りは、厳しいものとなりますが、財務体質の改善及び営業面での改善を図っていくことにより補完すべく対応していく所存でございます。本件に関しまして、現時点における当社の業績に与える影響はございません。

4. 今後の見通し

今回の社債の発行に関しまして、既存株主の皆様をはじめ市場の多くの方々にご心配ご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

なお、資金調達につきましては、引き続き検討を進めて参ります。

5. 平成 20 年 8 月 22 日付当社開示資料「転換社債型新株予約権付社債の発行に関するお知らせ」の一部変更について（変更箇所は下線で表示）

1. 転換社債型新株予約権付社債を発行する目的（P. 11）

【変更前】

（2）資金調達方法の選択理由

資金調達の方法については、既存株主に不利益とならないように配慮した結果、株式の発行による希薄化の問題に配慮し、無担保転換社債型新株予約権付社債の発行による資金調達がもっとも相応しいと判断いたしました。これにより、当社は無利息による資金調達が可能となり発行費用の抑制を図ることができ、当該転換社債型新株予約権付社債の転換価額は、株価の変動にともなって修正されず、一定の事由により転換価額が調整される場合を除いては常に一定であり、権利行使による希薄化の割合は発行時に確定（発行済株式数に対する比率 7.80%）します。

このようなことから、今回の無担保転換社債型新株予約権付社債の発行は、既存株主への影響を限定しつつ、当社が今後、戦略的な経営判断をするうえで、安定的かつ最適な資金調達手段と考えます。

なお、本件無担保転換社債型新株予約権付社債が、当社普通株式に転換されず償還期限（平成 22 年 8 月 31 日）を迎えた場合の償還原資につきましては、今後の営業努力によって得られる営業利益をもって充当する予定であります。

【変更後】

（2）資金調達方法の選択理由

資金調達の方法については、既存株主に不利益とならないように配慮した結果、株式の発行による希薄化の問題に配慮し、無担保転換社債型新株予約権付社債の発行による資金調達がもっとも相応しいと判断いたしました。これにより、当社は無利息による資金調達が可能となり発行費用の抑制を図ることができ、当該転換社債型新株予約権付社債の転換価額は、株価の変動にともなって修正されず、一定の事由により転換価額が調整される場合を除いては常に一定であり、権利行使による希薄化の割合は

発行時に確定（発行済株式数に対する比率 5.20%）します。

このようなことから、今回の無担保転換社債型新株予約権付社債の発行は、既存株主への影響を限定しつつ、当社が今後、戦略的な経営判断をするうえで、安定的かつ最適な資金調達手段と考えます。

なお、本件無担保転換社債型新株予約権付社債が、当社普通株式に転換されず償還期限（平成 22 年 8 月 31 日）を迎えた場合の償還原資につきましては、今後の営業努力によって得られる営業利益をもって充当する予定であります。

2. 調達する資金の額及び使途（P. 11）

【変更前】

（1）調達する資金の額（差引手取概算額）

60,000,000 円（差引手取概算額：59,100,000 円）

（4）調達する資金の支出予定時期

・返済・・・有利子負債削減

平成 20 年 8 月 29 日 金融機関への借入金返済・・・23,000,000 円

平成 20 年 9 月 30 日 金融機関への借入金返済・・・36,000,000 円

【変更後】

（1）調達する資金の額（差引手取概算額）

40,000,000 円（差引手取概算額：39,400,000 円）

（4）調達する資金の支出予定時期

・返済・・・有利子負債削減

平成 20 年 8 月 29 日 金融機関への借入金返済・・・23,000,000 円

平成 20 年 9 月 30 日 金融機関への借入金返済・・・16,400,000 円

3. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンス等の状況等（P. 12）

【変更前】

（3）今回のエクイティ・ファイナンスの状況

・日本精密株式会社第2回無担保転換社債型新株予約権付社債

発行期日	平成 20 年 8 月 29 日
調達資金の額	<u>60,000,000</u> 円
募集時点における発行済株式数	10,924,000 株
募集時における潜在株式数	<u>852,000</u> 株

【変更後】

（3）今回のエクイティ・ファイナンスの状況

・日本精密株式会社第2回無担保転換社債型新株予約権付社債

発行期日	平成 20 年 8 月 29 日
------	------------------

調達資金の額	40,000,000円
募集時点における発行済株式数	10,924,000株
募集時における潜在株式数	568,000株

4. 募集前後の大株主及び持株比率（P. 15）

【変更前】

募集前（平成20年3月31日現在）		募集後（潜在株式反映後）	
株式会社ジエンコ	30.22	株式会社ジエンコ	25.48
株式会社エムアンドエフシー	11.99	株式会社エムアンドエフシー	22.84
篠邊 貞道	5.84	SKS Trading USA, Inc.	8.49
シービーホンコンコリアセキュリ ティーズデポジットリーエトレード	4.15	篠邊 貞道	4.93
金 昌明	2.30	シービーホンコンコリアセキュリ ティーズデポジットリーエトレード	3.50
日本精密社員持株会	1.37	Kun-Ok Kim	2.41
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 （信託口4）	1.37	Kook Wonsuk	2.41
杉本 敏宏	1.35	Sung Sangyub	2.41
植竹 哲也	1.29	金 昌明	1.94
玉田 秀明	1.25	日本精密社員持株会	1.15

- (注) 1. 当社が保有する自己株式200,000株（募集前（2.01%）、募集後（1.70%））は表中に含めておりません。
2. 募集後の内容につきましては、平20年3月31日現在の所有株式数に基づき算出した持株比率を記載しております。
3. 平成20年6月25日に実施した第三者割当による新株式発行により SKS Trading USA, Inc. は、1,000,000株取得しております。

【変更後】

募集前（平成20年3月31日現在）		募集後（潜在株式反映後）	
株式会社ジエンコ	30.22	株式会社ジエンコ	23.09
株式会社エムアンドエフシー	11.99	株式会社エムアンドエフシー	20.71
篠邊 貞道	5.84	SKS Trading USA, Inc.	7.70
シービーホンコンコリアセキュリ ティーズデポジットリーエトレード	4.15	篠邊 貞道	4.46
金 昌明	2.30	シービーホンコンコリアセキュリ ティーズデポジットリーエトレード	3.17
日本精密社員持株会	1.37	Kun-Ok Kim	2.19
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 （信託口4）	1.37	Sung Sangyub	2.19
杉本 敏宏	1.35	金 昌明	1.76
植竹 哲也	1.29	日本精密社員持株会	1.05
玉田 秀明	1.25	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 （信託口4）	1.05

- (注) 1. 当社が保有する自己株式200,000株（募集前（2.01%）、募集後（1.54%））は表中に含めておりません。

2. 募集後の内容につきましては、平 20 年 3 月 31 日現在の所有株式数に基づき算出した持株比率を記載しております。
3. 平成 20 年 6 月 25 日に実施した第三者割当による新株式発行により SKS Trading USA, Inc. は、1,000,000 株取得しております。

6. 発行条件等の合理性 (P . 1 6)

【変更前】

(2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

当社の発行済株式総数は、10,924,000 株であり本転換社債型新株予約権付社債の潜在株式数は 852,000 株（発行済株式数に対する比率 7.80%）であります。今回の転換社債型新株予約権付社債の発行で得られた調達資金を、金融機関への借入金返済に充当することにより、財務状況の安定化と支払利息の低減が見込まれます。また、安定した事業活動が確保されることにより、業績の回復と事業拡大を目指すことで、企業価値及び株式価値の向上を図ることを目的としておりますので、今回の転換社債型新株予約権付社債の発行は既存株主にとっても合理的であると判断しております。

【変更後】

(2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

当社の発行済株式総数は、10,924,000 株であり本転換社債型新株予約権付社債の潜在株式数は 568,000 株（発行済株式数に対する比率 5.20%）であります。今回の転換社債型新株予約権付社債の発行で得られた調達資金を、金融機関への借入金返済に充当することにより、財務状況の安定化と支払利息の低減が見込まれます。また、安定した事業活動が確保されることにより、業績の回復と事業拡大を目指すことで、企業価値及び株式価値の向上を図ることを目的としておりますので、今回の転換社債型新株予約権付社債の発行は既存株主にとっても合理的であると判断しております。

以 上

【参考】

当初の転換社債型新株予約権付社債の発行要領の概要

- | | |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 . 社債の名称 | 日本精密株式会社第 2 回無担保転換社債型新株予約権付社債
(転換社債型新株予約権付社債間限定同順位特約付) |
| 2 . 社債の総額 | 金 6 千万円 |
| 3 . 各社債券の金額 | 金 10,000,000 円の 1 種 |
| 4 . 転換価額 | 1 株当たり 70 円 |
| 5 . 払込期日 | 平成 20 年 8 月 29 日 (金) |
| 6 . 募集の方法 | 第三者割当の方法により、個人 3 名に割り当てる。
(Kun-Ok Kim (20,000,000 円)
Kook Wonsuk (20,000,000 円)
Sung Sangyub (20,000,000 円)) |
| 7 . 償還期限 | 平成 22 年 8 月 31 日 |